

2018年7月31日
日 本 銀 行
金 融 市 場 局

日本銀行当座預金のマクロ加算残高にかかる基準比率の見直しについて

日本銀行は、2018年7月30・31日の政策委員会・金融政策決定会合において、「強力な金融緩和継続のための枠組み強化」を決定しました。

これを受け、日本銀行当座預金のうち、ゼロ金利が適用されるマクロ加算残高の算出に用いる基準比率（「補完当座預金制度基本要領」4.（3）イ. に定める基準比率）について、次のとおり見直すこととしました（なお、7月積み期間適用分に変更はありません）。

2018年8月積み期間：33.0%^{（注）}
（見直し前 30.5%）

これにより、上記積み期間において、日本銀行当座預金のうち、マイナス金利が適用される政策金利残高（金融機関間で裁定取引が行われたと仮定した金額）は、5兆円程度となる見込みです。

次回は、2018年9月～11月積み期間に適用する基準比率を2018年9月10日17時に公表する予定です。

（注）基準平均残高に乗じることにより、上記積み期間における「補完当座預金制度基本要領」4.（3）イ. に定める金額を算出します。

以 上

<照会先>

日本銀行金融市場局市場調節課 服部（03-3277-1234）、武田（03-3277-1284）